

## 佐貫さん(八学短大 講師)主催の現代芸術教室

# 「アートイズ」徐々に浸透

八戸市からアートを発信しようと、八戸学院短大幼児保育学科美術専任講師の佐貫巧さんが中心となって活動する現代芸術教室「アートイズ」のワークショップの認知度が高まっている。同市十三日町の八戸ニューポートや市美術館など身近な場所で絵画や粘土、木工など本格アートに挑戦できるのが特徴で、やってみたいときだけ参加できるという自由度の高さも好評。子どもから大人まで誰もが気軽に楽しめる「アートの拠点」を目指す。(三浦千尋)



12月中旬に行われた「大人のアートイズ」。アートホームな雰囲気も特徴の一つ。八戸ニューポート

地域の子どもたちが安全に楽しくアートに親しめる場をつくらうと、佐貫さんが2014年に開講。三沢第一幼稚園副園長の沼尾大伸さんと共に、3〜10歳の幼児・児童向けに毎月2回行っ

# 気軽にアート楽しんで

## 八戸中心街で本格体験

いるほか、15年からは市美術館と連携し、企画展に合わせた「出張アートイズ」も展開している。身近にある物を使ったオプジェやおもちゃ作りから、版画や絵の具作りといった専門的なもので内容はさまざま。自分で発見し、表現する楽しさを学ぶことで、発想力を育む狙いがある。今年5月には八戸工大二高美術コース教員の松本秀樹さんを講師に迎え、大人を対象にした「大人のアートイズ」をスタートさせた。イーゼルにキャンバスを置き、木炭でデッサンするなど「一度はやってみたいかった憧れのアート体験」ができる若者を中心にSNSや口コミで評判が広まっている。

大人の「アートイズ」は、基本的に隔週の土曜日に八戸ニューポートで開かれており、毎回10人前後が参加。リピーターも多く、12月中旬に参加した人からは「アートは何となく敷居が高いイメージだったが、アートホーム

で気軽に楽しめる」「こんな風になるんだという発見が面白い」という声も。

「教える側にとっても勉強になることが多い」と佐貫さん。ワークショップには、将来保育士を目指す八戸学院短大や八戸工大二高の学生もサポートに加わる。松本さんは「美術への関わり方には、制作だけでなく、体験の場をつくるという方法もあることを知ってほしい」と期待する。

常に新しい視点で美術への親しみ方を模索し、楽しさを伝える「アートイズ」。佐貫さんは「アートに触れたい人たちの受け皿のような場として継続していきたい」と力を込める。

◇ ◆ ◆

開催日時などはフェイスブック「アートイズ」または「大人のアートイズ」で公開中。申し込み、問い合わせは八戸学院短大☎電話0178(25)4411、メールアドレス art@shnhe.gma.comへ。